

# 平成 25 年度事業報告書

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

## 【報告】

平成25年4月1日、札幌市生涯学習振興財団は公益財団法人として新たな一步を踏み出した。そしてこの1年間、生涯学習センターや青少年科学館を拠点にしつつ、地域や施設等に出向いて事業を行うなど、積極的にアウトリーチ活動を進め、札幌市における生涯学習の振興と市民の学習活動への支援に努めてきた。

生涯学習センターでは、「さっぽろ市民カレッジ」を中心に、現地学習や実習を交えるなどの学習プログラムの充実やセンター以外の施設での講座実施など、多様な学習機会の提供に努めるとともに、学びをとおした交流や団体間の連携を支援する取り組みの拡充を図った。

また、学習成果を生かした市民の社会参加を積極的に進めるため、市民講師（ご近所先生）の企画・運営による講座の実施やボランティア団体などのセンター事業への参画を図った。

青少年科学館では、耐震改修工事により5月以降休館となったが、新たに導入した移動プラネタリウムを利用し、小学校での学習投影に加えて、イベントなどでも投影を行った。

また近隣施設でのサイエンスライブショーや工作会、幼稚園・学校での教室・講座の実施など、館外に出向いて行う事業の拡充を図り、科学の普及啓発に努めるとともに、新たな展示物の導入やコーナーの設置など、再開館に向けての準備を行った。

# 公 1 生涯学習普及振興事業

(定款第4条各号に掲げる事業)

## I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

### 1 学習機会提供・活動支援事業

#### (1) さっぽろ市民カレッジ

年間を3期(4～8月、9～12月、1～3月)に分け、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系で合わせて前年度より18講座多い317講座を実施した。市民の様々な学習ニーズに対応するため、センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生(市民講師)の企画・運営による講座や、大学・企業とも連携した講座を実施するなど、多様な学習機会を提供した。

さらに、高校生と大人と一緒に学ぶ<学社融合講座>では、受講生の世代を超えた交流を図った。

#### ア 市民活動系

ボランティア活動、市民活動、地域活動などに必要な知識・技術を学び、まちづくり活動などに参加するきっかけづくりの場とするため、実践的な学びの場として、現地学習を取り入れた講座を強化し、実施した。



地元地域の土木工事に関わる知識と理解を深めるため、座学に加え現地学習を取り入れた「完成目前!ダム工事の現場を見る」、実習の施設慰問コンサートを取り入れた「楽しく歌ってボランティア」等を実施し、市民の主体的な学習を支援した。

#### イ 産業・ビジネス系

職業能力の向上や社会人の学び直しなどに役立てるため、ビジネス・スキルアップや起業のための講座を実施した。

ビジネスの場で作業効率をあげるための手法を学ぶ「仕事に役立つマインドマップ活用術」「仕事の能率をアップさせる速読トレーニング」、雑貨店の起業に関する具体的なノウハウや知識を学ぶ「小さなお店と大きな夢—雑貨屋編」等を実施し、市民の職業能力の向上に努めた。



## ウ 文化・教養系

趣味・教養講座などで市民の学習意欲の向上を図るとともに、継続的な学びの場を提供し、生きがいつくりにつながる講座を実施した。

自然に対する理解をより深められるよう現地学習を取り入れた自然観察シリーズ講座として「シダ植物の魅力」「樹木医が語る森林の不思議」や実技を組み込んだ「博物館で植物標本づくり」、文学と歴史に関する「百人一首の世界を読み解く」などを実施し、市民の継続的な学習への意欲を喚起した。



### 【実績】 さっぽろ市民カレッジ講座内訳

※括弧内は前年度実績

	センター 企画講座	学社融合 講座	ちえボラ 企画講座	ご近所先生 企画講座	講座数計	受講者数計
市民活動系	29 (26)	5 (4)	2 (3)	— (—)	36 (33)	505 (446)
産業・ ビジネス系	28 (27)	4 (5)	— (—)	— (—)	32 (32)	343 (369)
文化・ 教養系	48 (48)	22 (20)	12 (7)	167 (159) 地域：27 (33)	249 (234)	3,990 (3,759)
合計	105 (101)	31 (29)	14 (10)	167 (159)	317 (299)	4,838 (4,574)

## (2) 生涯学習関連講座

行政・大学・企業等と連携し、その特性や資源を生かした講座を実施した。

### ア 区との連携事業

センターが有する企画・運営のノウハウを生かし、手稲区役所から小学校4年生～6年生対象の「夏休み自由研究に役立つ～手稲史跡巡りバスツアー～運營業務」、西区役所から高齢者対象の「第40期西区ときわ大学企画運營業務」をそれぞれ受託し、実施した。



【実績】「手稲史跡巡りバスツアー」40名（前年度47名）

「西区ときわ大学」15回35名（前年度14回20名）

### イ 大学との連携事業

それぞれの大学の特性を生かしながら、教員や学生とともに企画から運営までを行う講座を実施した。

【実績】札幌市立大学連携講座4回 64名

「潜入！改修工事中の豊平館～札幌の語り部的建築を知る～」ほか



## 北海道教育大学札幌校連携講座 4 回 61名

「懐中電灯で光のお絵かき～ピカピカアートにチャレンジ!～」ほか

### ウ 民間企業などとの連携事業【新規】

アサヒビール(株)北海道工場、雪印メグミルク(株)北海道統括支店と連携しそれぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、学習機会の提供を図るとともに、企業の社会貢献活動に協力した。



【実績】「世界のビール事情と歴史」ほか 全 2 回65名

「親子で牛乳工場見学とチーズ作り体験」ほか 全 2 回93名

### (3) 生涯学習普及事業

#### ア ちえりあフェスティバル

ちえりあの開館（8月25日）を記念して、館内の4施設（生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、教育センター、リサイクルプラザ）が共同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを実施し、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。



【実績】8/24(土)～25日(日)13,913名

(前年度2日間13,457名)

- ・ロビー特設ステージでのコンサート、ショー
- ・各種講座、サークル活動体験コーナー
- ・移動プラネタリウム
- ・保存期間終了雑誌無料プレゼント ほか



#### イ ちえりあ映画会

センター所蔵の映像教材を用い映画を楽しむ機会を提供した。ボランティア団体の「ムービー北海道」の協力を得て、視聴覚障がい者も鑑賞できるよう副音声をつけた作品や字幕付きの作品を上映した。夏休み・冬休み期間には子ども向け作品を上映した。

【実績】10回2,755名（前年度9回2,342名）

大人向け5回1,233名、子ども向け5回1,522名

#### ウ オペラシアター

センター所蔵のDVDを活用し、上映と専門家の解説を組み合わせた講座を実施し、世界一流のオペラを鑑賞するとともに、オペラに関する幅広い知識を学ぶ機会

を提供した。

【実績】 6回688名（前年度 6回580名）

## エ ちえりあ映像フェスタ

北海道や札幌をテーマに市民から公募した映像作品や視聴覚センター制作作品の上映会とコーディネーター（北海道教育大学岩見沢校教授/伊藤隆介氏）による講評を行い、まちづくりについて考えるきっかけとした。

【実績】 3/1(土)応募18作品、来場者106名

（前年度 応募21作品、来場者106名）



## オ ちえりあ講演会

さっぽろ市民カレッジ受講へつなげるとともに、学習活動の普及啓発を図るため、市民が興味関心を持つテーマの講演会を開催した。

【実績】 2講演582名（前年度 2講演423名）

11/23(土)「札幌で育ち、札幌を考え、札幌を書く。」作家/東直己氏 199名

3/17(月)「怪談と妖怪」作家/京極夏彦氏 383名

※関連事業3/9(日)～3/17(月)「幼稚園児のようかいお絵かき展」



## カ ゆりかごコンサート

子育て中の親とその子どもを対象にコンサートを開催し、気軽に音楽を楽しんでもらえる場を提供した。

【実績】 2公演600組（前年度 2公演394組）

9/26(木)影絵による絵本の読み語りと歌

出演：影絵劇団かしの樹 参加230組

12/12(木)ジャズライブ

出演：ジャズボーカリスト「Mizuho」参加370組



## キ CDコンサート

センター所蔵のCDと音響機器を活用し、午後のひとときにゆったりとクラシック音楽などに親しむ機会を提供した。

【実績】 12回344名（前年度12回280名）



#### ク 日本映画名作祭2013（主催：日本映画名作祭2013実行委員会）

上記実行委員会の一員として参画し、東京国立近代美術館フィルムセンターが保有する日本の貴重な名作映画4作品を上映し、日本映画文化の普及を図った。

【実績】11/8(金)～9(土)「若き映画監督特集」4作品 各2回上映 737名  
(前年度4作品 各2回上映 670名)

#### ケ イマジン音楽祭（共催：イマジン音楽祭実行委員会）

子どもたちに平和について考えてもらうきっかけとするため、小中高生が平和をイメージして書いた詩に地元の音楽家が曲を付けて発表するコンサートの開催を例年どおり計画していたが、共催者代表であるミュージシャンいなむら一志氏の体調不良（1月ご逝去）により、今年度の実施を中止した。

#### コ 北海道吹奏楽フェスティバル（共催：北海道吹奏楽プロジェクト）

若手プロ奏者たちによるアンサンブルの演奏会と、中学・高校の吹奏楽部に公開レッスンをを行うレクチャーコンサートを開催し、吹奏楽活動を支援し、その普及を図った。



【実績】2公演 902名（前年度3公演1,062名）

1/31(金)札幌管楽ゾリステンリサイタル364名

2/1(土)北海道吹奏楽プロジェクトコンサート538名

(中学校3校、高校2校、HBPアカデミーバンド)

#### サ カルチャーナイト

夜間、公共施設等を開放し、文化活動の発信を通じて、市民の地域文化への関心を高めるとともに、新しい地域文化の創造と発展を図る「カルチャーナイト」に実行委員として参加し、センターの施設機能を生かした催しを行った。



【実績】7/19(金)ミュージカルシアター「人間になりたがった猫」136名  
(前年度108名)

#### シ 市民活動団体などとの連携事業

新たなネットワークづくりを行うため、障がいのある子どもたちに本を楽しんでもらうための活動や子ども図書館の運営を行っている「公益財団法人ふきのとう文庫」と連携し、1階メディアプラザにおいて布の本や拡大写本の実物展示を行った。

【実績】3/27(木)～4/13(日)「ふきのとう文庫と連携した企画展示」

## ス さっぽろふるさと学の集い

札幌のまちづくりについて考えるきっかけとするため、「現在」「過去」「未来」をテーマに札幌の歴史や文化を学ぶ講座を実施した。また併せて、札幌の空撮写真と市内10区の観光マップなどをロビーに展示(1月24日(金)～2月13日(木))した。

【実績】「Sapporo FURUSATO Days～サッポロ イイトコ ミリヨク 再発見～」

2/11(火・祝)～13(木) 3講座61名

## (4) 文化振興事業

落語をとおして日本の古くからの風俗・習慣・人情を学び、日本の伝統芸能への理解を深めるきっかけとするため、落語事業を行った。

### ア 落語学校鑑賞会

日本の伝統芸能である落語の楽しさや奥深さに触れてもらうため、中央区、西区、手稲区の小学校6校を無料招待し、鑑賞会を実施した。

【実績】6/26(水)～28(金) 6公演1,325名(6校)

(前年度6公演1,362名(7校))

招待校：円山、幌南、発寒東、山の手、新陵、富丘



### イ 特選若手落語会

気軽に落語を楽しむ機会を提供するため、次代を担う若手落語家の公演会を開催し、落語の魅力を紹介した。

【実績】6/29(土)242名(前年度300名)

主な出演者：桂小南治、三遊亭遊喜

### ウ ちえりあ寄席

本格的な寄席を鑑賞する機会を提供するため、寄席囲いをしつらえた舞台上、真打はもとより、前座、二つ目、色物も出演する道内唯一の寄席を行った。

【実績】8/23(金)～25(日) 4公演1,110名

(前年度4公演1,588名)

主な出演者：桂歌丸、桂米丸、Wモアモア



### エ ちえりあ学生寄席

落語などの芸能文化を学ぶ学生(北海道大学落語研究会)に成果を発表する機会を提供するため「ちえりあ



寄席」のステージを活用した寄席を行った。

【実績】8/22(木)197名（前年度180名）

#### オ 秋のお気軽ミニ落語会

落語の世界とその鑑賞方法等を学んでもらうため、講座形式の公演会を行った。

【実績】11/10(日)79名（前年度96名）

主な出演者：瀧川鯉朝、桂翔丸

### (5) 学習活動支援事業

#### ア サークル発表会

学習成果を発表する場を提供することで、サークル参加者の活動意欲の向上を図るとともに、広く市民の鑑賞の場を設け、サークル活動や学習活動に対する興味、関心を高めるため、ちえりあや各区民センター等で活動しているサークルによる発表会を行った。

【実績】参加66団体 来場者1,380名

展示部門：11/15(金)～21(木)参加17団体

舞台部門：11/19(火)～21(木)参加49団体722名

(前年度 参加64団体(展示19団体、舞台45団体680名) 来場者1,366名)



#### イ ロビーコンサート

市内や近郊で音楽活動に取り組んでいる個人、団体から出演者を公募し、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に演奏を気軽に聴いてもらう場を設けた。開催日を前年度の第1土曜日から第2土曜日に変更し、年間の開催数を10回から12回に増やした。

【実績】12回 参加12団体 来場者1,815名

(前年度 参加10団体 来場者1,762名)



#### ウ 幼稚園児のお絵かき展

一般社団法人札幌市私立幼稚園連合会の協力のもと、幼稚園児の活動発表の場としてロビーで作品展を開催した。期間中は普段来館することが少ない園児やその家族が来館し、楽しそうに展示作品を眺めるなど館内に明るい賑わいが創出された。

【実績】参加15園 2,185作品（前年度17園、2,164作品）



## エ ロビーアート展

生涯学習の一環として創作活動に取り組んでいる市民から作品を公募し、1階エスカレーター横の展示用の壁面「アートウォール」で作品展示を行った。

【実績】10作品（前年度5作品）

「おおむかしの文字／書道」「花あそび／押し花」

「つながる、つながる結の花／パステル画」ほか



## 2 学習支援者活用・育成事業

### (1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

#### ア 市民講師育成事業（ご近所先生）

講師としての資質向上とスキルアップを図ってもらうため、ご近所先生企画講座を開こうとする市民を対象に研修会と交流会を実施した。

【実績】研修会3回 参加者100名

講師交流会1回 参加者30名



#### イ 生涯学習ボランティア育成事業

さっぽろ市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」と視聴覚教育にかかわるグループ「オンデマンド」に、活動の場と知識やノウハウを学ぶ機会を提供した。

【実績】「ちえりあ学習ボランティア」登録者47名（前年度48名）

「オンデマンド」登録者9名（前年度9名）



#### ウ 職場体験などの受入れ

大学のインターンシップを受入れ、講座の企画・立案や運営等、生涯学習に係る職業体験の場を提供した。

【実績】4校25名（前年度7校54名）

北海学園大学11名、北海道大学5名、札幌市立大学1名、札幌国際大学8名



## エ 生涯学習関連施設職員研修事業

区民センターや地区センターなどの職員を対象に、市民をひきつける広報活動に必要な知識やノウハウを学ぶ研修を行った。

【実績】 2回23施設33名（前年度2回17施設32名）

2/5(水)12施設15名、2/12(水)11施設18名



## (2) ボランティア等活用事業

### ア 学習支援者活用推進事業

さっぽろ市民カレッジ受講修了者が講師となる講座を行うなど、学んだ成果を生かす場を提供した。

#### (a) ちえりあビデオクルー

映像メディア講座受講生で結成されたグループに、センター事業、地域の活動・行事、自然風景などのビデオ撮影・編集を依頼し、センターのホームページで作品を発信した。また、映像メディア講座の講師を務めてもらった。



【実績】 登録者数22名（前年度23名）

#### (b) コーラスボランティア

「楽しく歌ってボランティア」講座修了者で結成されたグループに同講座の運営補助を務めてもらった。また、施設慰問コンサートを実施した。



【実績】 登録者「チェリーズ」10名（前年度10名）

「コスモス」10名（前年度10名）

#### (c) 市民ファシリテーター

市民ファシリテーター養成講座修了者に同講座の補助講師を務めてもらった。



【実績】 登録者4名（前年度2名）

#### (d) カメラボランティア

写真に関する知識や撮影技術学ぶ講座の修了生がつくるボランティアサークルにロビーコンサートなどの記録写真を撮影してもらい、広報誌をはじめさまざまな事業PRに活用した。



【実績】 登録者「ポレフォト」8名（前年度8名）

「とるとる」5名（前年度5名）

#### (1) 施設の貸与

##### ア 貸室事業

ホールやサークル活動室などを学習活動の場として提供した。

ホールと陶芸室の割引制度を引き続き実施し、吹奏楽や合唱の練習、陶芸サークルの活動等に提供した。

**【実績】 貸室利用件数14,472件、利用率79.2%**

(前年度 貸室利用件数14,487件、利用率79.1%)

##### イ ギャラリーの利用促進

ギャラリーを市民の学習成果の発表の場として提供した。

**【実績】 ギャラリー利用件数16件 (前年度12件)**

##### ウ 学習のための施設開放

施設を弾力的に活用し、大研修室等の空き室を学習の場として開放した。

**【実績】 夏季期間 (7/22(月)~8/16(金)) 12日間278名**

**冬季期間 (12/8(日)~3/14(金)) 48日間1,063名**

##### エ 公共目的事業への協力

市民によるまちづくり活動の一環として催された映画上映会など、外部団体による生涯学習に係る事業で、当財団の公益目的事業に沿うものについて、共催することで会場協力や支援を行った。

**【実績】 共催事業 6件 (前年度 2件)**

#### (2) 学習相談・情報提供

##### ア 学習相談、サークル・講師の紹介

メディアプラザの学習相談をはじめ、生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、サークル団体や講師の登録を行い、サークル活動など市民の学習活動に役立つ情報を提供した。また、「ちえりあサークル」に登録している団体の情報をまとめた「サークルガイド」を発行した。

**【実績】 メディアプラザ学習相談542件 (前年度423件)**

**サークル登録134件 (前年度133件)**

##### イ 広報誌の発行

センターが行う講座やイベントなどの事業をPRする広報誌「ら・ちえりあって」

を発行した。また、広報誌の特集記事にあわせて、ちえりあに来館された市民から聞いた「これにチャレンジ宣言」として撮った写真を展示する企画展を開催した。

**【実績】 6回発行（5月、7月、9月、11月、1月、3月）各回12,000部**

（前年度 6回発行 各回10,000部 6月のみ6,000部）

**関連事業1/24(金)～2/6(木)「これにチャレンジ宣言」企画展**

## ウ ホームページの活用

講座やイベントなどの情報提供のほか、ちえりあビデオクルーが撮影した動画を配信するなどして、センターの事業を紹介した。

また、9月から貸室の空き状況が確認できるようにし、利便性の向上を図った。

**【実績】 ホームページアクセス数1,048,490件（前年度976,446件）**

## エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

行政機関、大学、民間カルチャーセンターなどで実施している講座の情報をまとめ、市民に提供する冊子を発行した。

**【実績】 2回発行（6月、11月）各回3,000部（前年度 2回発行 各回3,000部）**

## オ 「子どもの学びガイド」の発行

学校休業日に市内公共施設で開かれる子ども向け事業を紹介するガイドを発行し、市内の市立小学校全児童に配布した。

**【実績】 4回発行（7月、9月、12月、3月）各回93,000部**

（前年度 4回発行 各回93,000部）

## カ 調査研究事業

講座全体の受講満足度を上げるための基礎資料として、生涯学習にどのような考えをもつ人が市民講師（ご近所先生）になるのか、また講師を経験した人が今後札幌市の生涯学習とどのように関わっていこうと考えているのかなどについて、データ分析やインタビュー調査を行い、報告書にまとめた。

**【実績】 「受講者から高い評価を得ている市民講師に共通する特性及び資質についての調査研究」**

## キ 利用者などの声を生かす取り組み

### (a) 生涯学習センター運営協議会

札幌市教育委員会が学識経験者などにより設置した運営協議会に出席し、生涯学習センターに求められているものを確認した。

(b) 利用者アンケートの実施

利用者を対象に接遇などの満足度を測るアンケートを11月と2月に実施し、総合満足度は、約84%の高い評価を得ることができた。

【実績】回収数535枚（前年度505枚）

(3) 図書及び視聴覚教材の閲覧・貸出し、資料収集並びに管理運営

ア メディアプラザ運営事業

広く学習相談に応じるとともに、生涯学習に関する資料の収集と貸出や資料等の紹介などのレファレンスサービスを通じて、学習活動の支援を行った。

【実績】利用者数41,489名（前年度43,181名）

(a) 図書閲覧・貸出し

生涯学習に役立つ図書の閲覧と貸出しを行った。また、市立図書館の蔵書の取次サービスにも対応した。

【実績】図書蔵書25,513冊

図書貸出冊数25,410冊（メディアプラザの蔵書分のみ）

市立図書館の蔵書の貸出取次冊数19,918冊

(b) 音楽・語学教材・映像の視聴

音楽・映像・語学教材を視聴に供した。また、クラシック音楽を中心とした音楽図書館として資料提供のほか、新たに音楽CD（約1万2千点）の貸出しを平成26年4月15日から開始できるよう準備を行った。

【実績】教材保有数28,574点（前年度32,069点）

利用件数 音楽教材2,291件（前年度2,087件）

映像教材2,586件（前年度374件）

語学教材70件（前年度91件）

イ 視聴覚センター管理運営事業

札幌市からの委託により、視聴覚教育の推進と市民団体や学校などへの学習支援を行うことを目的に、視聴覚センターの管理運営を行った。

(a) 視聴覚教材の貸出し

市内の学校、町内会やサークルなどに、16ミリフィルム・ビデオ・DVDなどの貸出しを行った。また、自主制作教材をホームページ上でも見ることができるデジタルアーカイブスを提供した。

【実績】教材数10,843本（16ミリ3,065本、VHS6,506本、DVD1,272本）

教材・機材貸出数 4,680本（前年度5,225本）

デジタルアーカイブスアクセス数50,572件（前年度40,944件）

(b) 学習教材の制作

学校教育、社会教育関係者に依頼して地域性がある教材を制作するとともに、教材制作を行う教職員などへの助言・指導も行った。

また、前年度に制作した教材のうち1作品が全国自作視聴覚教材コンクール（一般財団法人日本視聴覚教育協会主催）で入選した。

**【実績】新規制作教材数4本**

平成25年度全国自作視聴覚教材コンクール入選作品

＜小学校部門＞「ガラスの町・小樽市」（平成24年度制作）

(c) 視聴覚操作技術等講習会

① 16ミリ映写機操作技術講習会

学習活動や地域活動で16ミリフィルムを利用できるようにするため、メディアボランティア「オンデマンド」のメンバーが講師となり、操作技術を習得する講習会を実施した。

**【実績】11/10(日)4名（前年度3回15名）**

② ビデオ制作ワークショップ

自主制作教材の制作技術の向上を図るため、教職員を対象に夏休み・冬休み期間中にワークショップを実施した。

**【実績】4回45名（前年度2回53名）**

③ 中学校校内放送コンテスト

札幌市中学校放送教育研究会と共催で、中学校放送局員が制作した番組とアナウンスのコンテストを開催した。

**【実績】7/14(日)7校45名（前年度7校30名）**

アナウンス部門2名（前年度6名）

朗読部門25名（前年度22名）

テレビ番組部門1作品（前年度1作品）

ラジオ番組部門2作品（前年度1作品）

④ 中学校校内放送技術講習会

札幌市中学校放送教育研究会と共催で、中学校放送局員の技術向上を図るための講習会を実施した。

**【実績】2回18校99名**

8/22(木)12校61名、1/9(木)6校38名

## II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

なお、耐震改修工事のため昨年5月7日から約1年間休館していたが、4月23日に「天文・地球科学コーナー」更新の記念式典及び内覧会を開催し、翌24日に再開館する。夏休みには再開館記念イベントとして「(仮)宇宙展」を開催する。

開館期間及び休館期間は次のとおり

開館期間 平成25年4月1日～5月6日

休館期間 平成25年5月7日～平成26年4月23日

### 4 科学及び科学技術普及振興事業

#### (1) 科学に関する教室・講座

##### ア 実験教室

##### (a) 日曜実験室

小・中学生を対象に、生活に密着した題材や遊びの要素などを取り入れた実験教室を実施した。

【実績】開館期間「TheせっけんPower！」8回247名（前年度65回799名）

##### イ 工作教室

##### (a) 科学館の工作室

##### <小・中学生向け>

科学的動作原理、材料や道具の正しい使い方などの習得とものづくりへの興味を喚起するため実施した。

【実績】開館期間27回559名（前年度84回4,551名）

「コイのたきのぼり」ほか9種類

##### <親子向け>

木製の小物入れ作りを通して、ものづくりの楽しさを感じながら木の性質・工具の使い方を学んでもらうことを目的に、小・中学生とその保護者を対象とした工作教室を実施した。

【実績】10/26(土)「世界に一つだけのトラック型小物入れをつくろう！」

12組24名

## ウ 科学教室

### (a) サイエンジャー科学教室

幅広い年代の子どもたちが科学に親しめるよう、小・中学生を対象にさまざまな切り口で観察や実験を行い科学の面白さを伝えた。また、大人向けの科学教室も実施し、現象の背後にある科学原理を探り、学び、発見する楽しさを紹介した。



#### 【実績】<小・中学生向け>

12回226名（前年度25回677名）

6/2(日)「いろいろ?まぜまぜ!大作戦」 生涯学習センター31名

7/14(日)「葉脈標本をつくろう!」 厚別区民センター48名

9/1(日)「手作りカメラをつくろう!」 厚別区民センター24名

10/6(日)「ぼくたち火山探検隊!」 生涯学習センター34名

11/24(日)「あま~い秘密~フルーツ・ラボラトリー~」  
生涯学習センター40名

1/26(日)「サカナのハテナをみつけよう!」 厚別区民センター29名

3/9(日)「LOBOLABプログラミング教室」 生涯学習センター20名

#### <大人向け>

2回9名（前年度4回35名）

7/7(日)「溶けるとはどんなことか?」 厚別区民センター5名

11/17(日)「ゴム風船の科学~なぜ風船から気体がぬけるの?」  
生涯学習センター4名

## エ 出前科学教室

### (a) 移動科学館

理科授業支援のため、9つのテーマを企画し、その中から1つを選択してもらい、小・中学校の授業の1コマとして学校では行えないような発展的な実験などを行った。



#### 【実績】19校1,473名（前年度1校105名）

小学校4年生 10校828名

小学校6年生 4校347名

小学校（ほか）3校137名

中学校 2校161名

「空気の力を感じよう!~空気や水の科学~」など

(b) 幼児のための出前サイエンス

幼稚園へ出向く回数を増やし、楽しみながら科学のおもしろさを感じてもらえるよう遊びの要素を多く取り入れたサイエンスショーを実施した。

【実績】 32園3,394名（前年度18園2,066名）

「サイエンスマジシャンのふしぎなマジック」ほか

(c) 出前サイエンス&工作会【新規】

休館中のアウトリーチ活動として、新たに児童会館や公共施設、近郊地域などへ出向いてサイエンスショーや科学教室・工作教室を行った。

また、冬休み期間には近隣施設を会場に特別企画を行い、工作会やサイエンスショーのほか、中学、高校の科学部による体験ブースの展開などさまざまな方法で子どもたちの科学への関心を喚起する活動を行った。

【実績】 児童会館27館1,369名 そのほか37施設31,213名

5月～9月 市内児童会館（11館）617名

10月～3月 市内児童会館（16館）752名

<主な実施施設>

6/15(土)～16日(日)サッポロさとらんど1,250名

7/30(火)～8/4(日)、8/13(火)～18(日)サッポロさとらんど7,201名

11/2(土)サンピアザ劇場「サイエンスライブショー」179名

2/15(土)サンピアザ劇場「サイエンスライブショー」157名

1/4(土)～9日(木)サンピアザ光の広場6,840名

(d) 移動天文台

天文台を利用する機会の少ない市民や団体に、広く広報誌などで募集を行い、地域で気軽に天体観望する機会を提供した。

また、市有施設などからの依頼により、観望会や天文講座を行った。

【実績】 45回4,109名（前年度44回3,558名）

6/15(土)～8/11(日)屯田北小学校、宮の上公園など 27回2,375名

9/5(木)～10/6(日)西野第二小学校、伏見小学校など 11回828名

<市有施設などからの依頼による観望会>

6/13(木)キャンドルナイトin琴似二十四軒星空観察会400名

7/14(日)サッポロさとらんど「さとのカルチャーナイト」100名

8/10(土)円山動物園「夜の動物園」140名



- 8/16(金)藻岩山「藻岩で星見☆ナイト」129名
- 9/7(土)芸術の森「ジュニア・チャレンジ・ジャム」30名
- 10/11(金)藻岩山「藻岩で星見☆ナイト」38名
- 1/25(土)芸術の森「雪あかりの祭典『天体観望会』」69名

(e) 移動プラネタリウム【新規】

8月に導入した移動式のプラネタリウムを利用し、市内外の学校などで理科のカリキュラムに沿った投影と解説を行った。

また、イベントなどで市民を対象に星空の投影と解説を行った。



【実績】学校など48校101回3,256名

イベントなど3施設33回887名

9月～12月

幼稚園・小学校・中学校 48校101回3,256名

8/24(土)～25(日) 生涯学習センター120名

1/4(土)～9(木) サンピアザ光の広場655名

2/2(日) 厚別区民センター112名



オ 天文教室

(a) 大人のための天文教室

① 大人の星空教室

厚別区民センターと生涯学習センターで、初心者向けの教室を実施した。

【実績】2回(全8日)52名(前年度2回64名)

② 詳しく学ぶ天文講座

厚別区民センターと生涯学習センターで、少し専門的な内容を盛り込んだ天文教室を実施した。

【実績】2回(全12日)52名(前年度2回58名)

③ アイソン彗星講座

アイソン彗星が見ごろを迎える前に、彗星の見え方や特徴などを中心とした講座を実施した。

【実績】4回62名

11/6(水)厚別区民センター12名

11/9(土)厚別区民センター13名

11/13(水)生涯学習センター14名



11/16(土)生涯学習センター23名

(b) 親子天文教室

生涯学習センターなどを会場に、小学生とその保護者を対象とした、望遠鏡やオリジナルモビールの天文工作と星空解説を組み合わせた講座を実施した。



【実績】16回214組450名（前年度6回110組244名）

8/17(土)・18(日)「手づくりの天体望遠鏡で星を見よう」

サッポロさとらんど56組121名

1/4(土)～9日(木)「親子工作会」 サンピアザ光の広場110組220名

1/11(土)・12(日)「惑星モビールをつくろう！」

生涯学習センター48組109名

(c) 宇宙セミナー

第一線で活躍する専門家を招き、最新の天文情報に基づく、宇宙・天文についての興味・関心を高める講座を実施した。

【実績】3/9(日)「見えない光の天文学～南十字座の下で～」67名

(d) ほしのおはなしかい

プラネタリウムの観覧が難しい幼児とその家族を対象に、星のへやを会場に宇宙に関係のある絵本の読み聞かせを行い、星への興味へとつなげた。

【実績】4/6(土)～7(日)32名

カ その他科学普及に関する講座・教室

(a) 工作競技会

2個のプラスチックコップの底同士を接着させて作ったマグヌスコップに輪ゴムをかけて飛ばして距離を競う競技会を開催することによって、科学の力を目に見えるようにし、興味を持たせる工夫をした。

【実績】5/3(金)～6(月)4日間

(b) 科学クラブ (Sciキッズ) 運営

新規募集を行わず、現在の会員向けの広報や情報発信を行うとともに、今後の運営のあり方についての検討を行った。

【実績】Sciキッズ友の会会員37名

(c) 科学映画会

科学技術週間（4月半ば）の関連イベントとして、ゴールデンウィーク期間に科学に関する映像4作品を上映した。

【実績】5/3(金)～6(月)4日間4作品

(d) 職場体験などの受入れ

天文台において職場体験を受入れ、学習活動への支援を行った。

【実績】北海道札幌英藍高校 2名

(前年度67校1,415名 ※科学館における職場体験を含む)

(e) 実験実習セット貸出し及び制作

学校等では準備が困難な実験・実習セットを貸出し、授業への支援を行った。

また、中学校理科教諭と連携し、授業に生かせる補助教材を制作している。

【実績】貸出し13団体19セット (前年度12団体19セット)

制作中「放射線実験セット」「地層の広がり学習セット」

キ 共催事業・協力事業

(a) 札幌市中学校「私たちの科学研究発表会」(共催：札幌市中学校文化連盟)

生涯学習センターで開催された中学校科学部の生徒らによる科学研究の成果を発表・交流する中文連発表会に協力した。

【実績】11/2(土)～3(日)14校37テーマ218名 (前年度14校37テーマ423名)

(b) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」(主催：一般財団法人日本宇宙フォーラム)

宇宙の日(9月12日)を記念して、小・中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品を募集し、審査・表彰を行った。

当館での最優秀作品が全国入賞(小学生絵画/国立天文台長賞、中学生作文/宇宙航空研究開発機構理事長賞)を果たした。

【実績】応募数 作文：小学生9名、中学生1名

絵画：小学生386名、中学生48名

(前年度 作文：小学生68名、中学生79名

絵画：小学生381名、中学生28名)

(c) 札幌市創意くふう作品展 (主催：札幌市創意工夫教育研究会他)

市内の小・中学生が自由研究などで制作した作品の審査に協力し、その表彰式と作品の展示に協力した。

【実績】9/21(土)～22(日)展示数92点、応募数245点

(前年度展示数88点、応募数271点)

(d) 夏休み天体観望会 (共催：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)

定山溪自然の村を会場に、光害の少ない環境において星雲や流星などの淡い天体を見る機会を提供した。

【実績】8/12(月)266名 (前年度221名)

- (e) さっぽろ星まつり（共催：公益財団法人札幌市公園緑化協会）

前田森林公園を会場に天文愛好家の協力を得て、天体観望・望遠鏡工作・星のおはなし会などを行った。

【実績】9/14(土)～15(日)2,500名

(15日は悪天候により中止)

(前年度1回2日4,100名)



- (f) コズミックカレッジ（共催：独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA））

小・中学生対象の宇宙をテーマとした実験教室を、生涯学習センターで開催した。

【実績】6/9(日)31名

- (g) 宇宙教育指導者セミナー（共催：独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA））

学校教育における宇宙教育の充実を図るため、指導者を育成するセミナーを生涯学習センターで開催した。

【実績】6/8(土)「ベーシックコース」47名

6/9(日)「スキルアップコース」18名

- (h) 親子向けメカトロ教室（共催：一般社団法人日本機械学会）

札幌市立大学サテライトキャンパス（アスティ45）を会場に、小・中学生とその保護者を対象とした、ハンダ付けの要らない簡単な電子回路の工作教室を実施した。

【実績】7/6(土)27組54名



- (i) 夏の星空観察会（協力：㈱アレフ）

えこりん村を会場に夏の天体を見る機会を提供し、企業の社会貢献活動に協力した。

【実績】8/3(土)40名

- (j) 地域連携事業

厚別区で行われる区民協議会やまつりイベントに協力した。

【実績】あつべつ区民協議会、厚別区民まつり、新さっぽろ冬祭り2014

- (k) きたっこ科学館（共催：札幌市北区）

北区からの依頼により、子どもたちの科学に関する探究心を引き出すことを目的に、サイエンスショーや移動プラネタリウムの投影を行った。

【実績】2/22(土)293名



- (l) かるちやるネット

札幌市厚別区と江別市にある博物館や図書館などの社会教育施設が連携し、地域への活動PRや生涯学習活動の推進を図る協議会（かるちやるネット）に参加

し、日常的な情報交換、広報連携を行うとともに、サンピアザを会場に「発見・体験・文化の秋～遊ぼう！学ぼう！あつべつ・えべつ～」などのイベントを実施した。

#### (m) C I S E ネット

札幌周辺地域の博物館や科学館などの社会教育施設等が連携し、地域住民の科学教育を進めるネットワーク（C I S E ネット）に参加し、テーリング・システム教育（1つのテーマを複数の教育機関・施設を巡りながら学ぶシステム）を実践した。

また、ネットワークに参加している札幌市豊平川さけ科学館と札幌市円山動物園と連携し、サイエンスショーなどの科学実験の出前教室を行ったほか札幌駅前通地下歩行空間で実施したC I S Eサイエンス・フェスティバルに参加するなど、関係施設と積極的な連携を図った。

#### (n) 教員研修

職員を講師として派遣し、実験を通して実験器具の基本的な知識と扱う時の注意事項などに係る札幌市教育委員会主催の研修会に協力をした。



【実績】2回40名（前年度1回19名）

1/8(水) 小学校理科実験（水溶液）22名

1/10(金) 小学校理科実験（電気）18名

### (2) ボランティアなどの育成・活用事業

#### ア 天文指導員の養成

市民を対象に定期研修や天文事業への参加機会を提供し、天体観望会に生かせる実践研修を行い、天文普及の一翼を担う人材を養成した。

【実績】登録者数53名（新規11名）（前年度登録者数56名）

### (3) 科学に関する情報の収集・提供

#### ア 科学技術に関する資料の収集

関係出版物や他施設の発行物などを収集し、当館における解説の基礎資料や展示の参考とした。

#### イ 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物を収集するとともに、天文台や移動天文車で天体写真を撮影し、インターネット中継やホームページ等で公開した。

ペルセウス座流星群（8月）、アイソン彗星（10月・11月）、ラブジョイ彗星（11

月)、おおぐま座M82超新星（2月）の写真を撮影し、ホームページで公開した。

#### ウ 「星空散歩」発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレット「星空散歩」を発行した。休館中はプラネタリウム関連の情報がないことから、発行回数を6回から4回に減らし、季節毎に発行した。

**【実績】 4回発行（5月、8月、11月、2月）各回2,000部発行**  
（前年度6回 総計62,500部）

#### エ 天文相談コーナーの運営

天体望遠鏡、参考図書などを常備して学習を支援し、初歩的な疑問・質問への対応も行った。

#### オ ホームページによる学習支援・情報発信

科学館ホームページに科学トピックスを掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行った。また、顔の見える科学館を目指し、休館中の科学館やアウトリーチ活動の様子を配信し、施設と事業のPRに努めた。

**【実績】 ホームページアクセス数278,153件（前年度242,999件）**

#### カ SNS（ソーシャルネットワークサービス）による情報配信【新規】

ツイッターによるイベントや科学トピックスの情報配信のほか、科学館のオリジナルキャラクターであるサイエンジャーのフェイスブックを立ち上げ、ホームページと連動しイベントの告知や報告、休館中の科学館アウトリーチ活動の様子などを配信した。

#### キ サイエンスコラムの執筆

新聞・雑誌等からの依頼に応え、科学普及のためのコラムの執筆を行った。

## 5 青少年科学館等管理運営事業

### (1) 展示関連事業

#### ア 科学館展示

##### (a) 常設展示

宇宙、北方圏、電気、力学などのテーマに沿って、科学の原理や科学技術を「見て」「触れて」「考える」ことができるよう、分かりやすく操作方法を示したり解説員による展示物説明を行ったりした。中でも宇宙については従来のコーナ

ーをリニューアルし、新たに地学分野も加えた「天文・地球科学コーナー」を更新する準備を行った。環境については休館期間中に太陽光発電設備の導入にあたり、発電状況や仕組みを知ることができる展示物の設置を行った。またその他の展示物についても老朽化した部品を交換するなどの整備を行い、利用者の安全面に十分配慮した。故障続きで休止していたバーチャリウムについては、展示ブースの再利用方法を検討し、学校団体向けの実験ショーを見せる大実験室（仮）として活用するための準備を行った。

## (b) 展示実演等

### ① サイエンスショー

不思議な現象の紹介や楽しい実験を通して、来館者とのコミュニケーションを図りながら科学への興味関心を深めてもらえる内容の実演ショーを行った。

【実績】開館期間「色がいろイロ」80回3,618名（前年度675回15,843名）

### ② テレビスタジオ

クロマキーなどテレビ番組で使われている特殊効果の紹介と実際に撮影体験してもらおう参加型の実演を行った。

【実績】開館期間平日2回/日、土日祝日及び特別展期間中3回/日

### ③ 低温展示室公開

-10℃に設定した部屋の中に雪や氷の性質が分かる展示物を配置し、解説を行った。観測船「しらせ」から寄贈された南極の氷の展示も行った。

【実績】開館期間3回/日

## イ 特別企画

### (a) サイエンジャーのワンダーランドGW

ゴールデンウィーク期間中に、紙でつくる工作や 数字パズル、小さい子も遊べる木の砂場など複数のコーナーを用意し、親子で楽しめる内容で実施した。

【実績】5/3(金)～6(月)4日間23,546名

(前年度20,702名)



## (2) 天文関連事業

### ア プラネタリウム投影・解説

#### (a) 一般投影

星や星座について分かりやすく解説し、天文学の初歩から最新情報までを学習する機会を提供した。

【実績】開館期間160回16,841名（前年度1,335回96,081名）

## (b) 学習投影

学習要領を踏まえ、月の動きや季節の星座、星の色などについて解説した。

【実績】4月～6月117校71回9,582名（前年度232校149回18,500名）

移動プラネタリウムによる学習投影9月～12月45校97回3,033名

## イ イブニングプラネタリウム

日中に行っている一般投影を週末の夜間に行い、普段来館できない市民に観覧機会を提供した。

【実績】4/20(土)テーマ「南天星空旅行」、オート番組「宇宙兄弟～一点のひかり～」  
107名（前年度4回399名）

## ウ 天体観望事業

### (a) 天体観望会

#### ① 科学館観望会

イブニングプラネタリウム開催に併せ、科学館駐車場において移動天文車などを使った観望会を行った。

【実績】4/20(土)120名（前年度4回262名 ※悪天候のため中止11回）

#### ② ゴールデンウィーク観望会

ゴールデンウィーク期間中（4月27日(土)～5月6日(月)）に科学館正面玄関前で太陽と惑星の観望会を行う予定であったが、いずれも悪天候により開催できなかった。

#### ③ アイソン彗星を探そう

アイソン彗星が地球に接近し、見ごろを迎える日（12月7日(土)・8日(日)）にモエレ公園にて観望会を行う予定であったが、悪天候のため開催できなかった。

### (b) 札幌市天文台公開

天体観望の機会を提供するとともに、天文に関する話や質問への対応を通して天文に対する興味・関心を高め、天文台の利用促進を図った。

【実績】午前305回1,665名、午後264回1,208名、夜間76回1,687名

（前年度午前309回2,464名、午後264回1,232名、夜間65回1,351名）

## (3) その他施設運営

### ア 「科学館ニュース」の発行

「科学館ニュース」を毎月制作し、館内に掲示したほか、市内小・中学校・幼稚園などに配布して、最新のイベント情報などを提供した。

【実績】10回 総計7,215部（前年度12回 総計11,116部）

イ 利用者などの声を生かす取り組み

(a) 科学館運営協議会の開催

学校関係者や学識経験者、地域有識者などからなる協議会を開催し、当館の事業を検証するとともに、改善に向けた助言を得た。

【実績】10/9(水)、3/5(水)

(b) 小学校・中学校連絡会の開催

市内小学校、中学校の理科教諭を中心に、科学館の在り方や学校との連携方法などについて意見を交換した。

【実績】1/29(水)小学校連絡会15名

1/30(水)中学校連絡会13名

(c) 利用者アンケートの実施

来館者に対して施設利用に関するアンケートを実施し、要望が多かった授乳室の増設を行った。

## **収 1 物品販売等事業**

---

(定款第4条第1項第6号に掲げる事業)

### **(1) 売店の運営**

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者等への便益提供を目的とした売店事業を行った。また、さっぽろ星まつり等にも出店し、オリジナル商品である星座早見盤等の販売を行った。

### **(2) 自動販売機の設置・販売**

札幌市生涯学習センターと札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした自動販売機事業を行った。

### **(3) 飲食店の運営**

生涯学習センター利用者への便益提供を目的とした飲食店事業について、新規運営事業者を公募し、外部委員を含めた選考委員会で選考した結果、今回の選考該当者は無しとした。今後、改めて運営形態などの見直しを含めて検討を進めていく。

## **他 1 生涯学習施設の公益目的外貸与等事業**

---

(定款第4条第1項第5・6号に掲げる事業)

### **(1) 施設の貸与**

企業などの利用を含む公益目的以外の目的に対し、ちえりあホールや各種研修室などを貸与した。

### **(2) 駐車場管理業務**

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、利用者への便益提供を目的とした駐車場の管理運営を行った。

### **(3) 施設管理受託業務**

札幌市生涯学習総合センター内の教育センター、若者活動センター、リサイクルプラザの警備、清掃業務を札幌市から受託し、実施した。



## 平成25年度 管理運営施設利用状況

## ● 札幌市青少年科学館観覧者数

		平成25年度			前年度対比	前年度 (平成24年度)
		個人	団体	合計(人)		
展示室	大人	20,579	152	20,731	23.0%	90,103
	小人	25,334	1,639	26,973	16.8%	160,519
小計		45,913	1,791	47,704	19.0%	250,622
プラネタリウム	大人	7,468	122	7,590	17.0%	44,715
	小人	8,753	1,257	10,010	14.0%	71,342
小計		16,221	1,379	17,600	15.2%	116,057
合計		62,134	3,170	65,304	17.8%	366,679
1日あたりの観覧者数(人)		222			17.8%	1,247

## ● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況

項目		平成25年度	前年度対比	平成24年度
貸室(25室)	利用率(%)	79.2%	100.1%	79.1%
	利用人数(人)	354,696	98.8%	358,866
1日あたりの利用者数(人)		1,022	98.8%	1,034

## ● メディアプラザ利用状況

項目	平成25年度	前年度対比	平成24年度
メディアプラザ利用人数(人)	41,489	96.1%	43,181
一日あたりの利用者数(人)	120	96.8%	124

&lt;メディアプラザ利用人数内訳&gt;

学習相談者	インターネット利用	視聴覚コーナー利用	図書貸出者	図書新規登録者	図書利用者端末利用	札幌市図書貸出者
542	11,193	3,299	11,759	981	3,045	10,670

## ● 視聴覚センター教材貸し出し状況(16ミリ・ビデオ教材・機材)

項目	平成25年度	前年度対比	平成24年度
貸出本数	4,680	89.6%	5,225

## ● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況内訳(主な貸室)

項目		平成25年度	前年度対比	前年度 (平成24年度)
ホール	利用率	66.6%	92.8%	71.8%
	利用人数	111,988	97.3%	115,078
講堂	利用率	62.4%	98.4%	63.4%
	利用人数	41,778	92.9%	44,961
大研修室	利用率	70.1%	109.5%	64.0%
	利用人数	25,127	109.4%	22,974
中研修室1	利用率	74.1%	107.5%	68.9%
	利用人数	16,192	101.9%	15,895
中研修室2	利用率	84.8%	97.1%	87.3%
	利用人数	17,809	96.8%	18,402
演劇スタジオ1	利用率	92.2%	95.0%	97.1%
	利用人数	11,862	95.8%	12,388
演劇スタジオ2	利用率	96.8%	99.7%	97.1%
	利用人数	8,384	96.0%	8,731
音楽スタジオ1	利用率	92.0%	108.6%	84.7%
	利用人数	5,872	132.7%	4,425
音楽スタジオ2	利用率	96.6%	101.3%	95.4%
	利用人数	6,326	105.0%	6,026
映像スタジオ	利用率	64.8%	99.5%	65.1%
	利用人数	7,189	99.1%	7,256

## ● 視聴覚センター教材・機材貸し出し内訳(16ミリ・ビデオ・機材)

項目		幼稚園	小学校	中学校	高校・特別支援学校	社会教育	合計
貸出本数	平成25年度	219	2,830	592	36	1,003	4,680
	平成24年度	303	3,152	621	97	1,052	5,225
	前年度対比	72.3%	89.8%	95.3%	37.1%	95.3%	89.6%

## ● 視聴覚センター視聴覚教材保有数

	DVD	VHS	16ミリ フィルム	合計
保有数	1,272	6,506	3,065	10,843
うち新着数	28	0	0	28
廃棄	0	0	0	0

## ● メディアプラザ音楽・映像教材保有数

	CD	LP	SP	LD	VHD	VHS	DVD	合計
保有数	12,061	8,763	1,946	1,884	101	192	1,132	26,079
うち新着数	72	0	0	0	0	0	48	120

## ● メディアプラザ語学教材保有数

	カセット	CD	LD	VHD	VHS	合計
保有数	2,195	14	18	1	267	2,495

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 26 年 6 月

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団